

うむ、介護

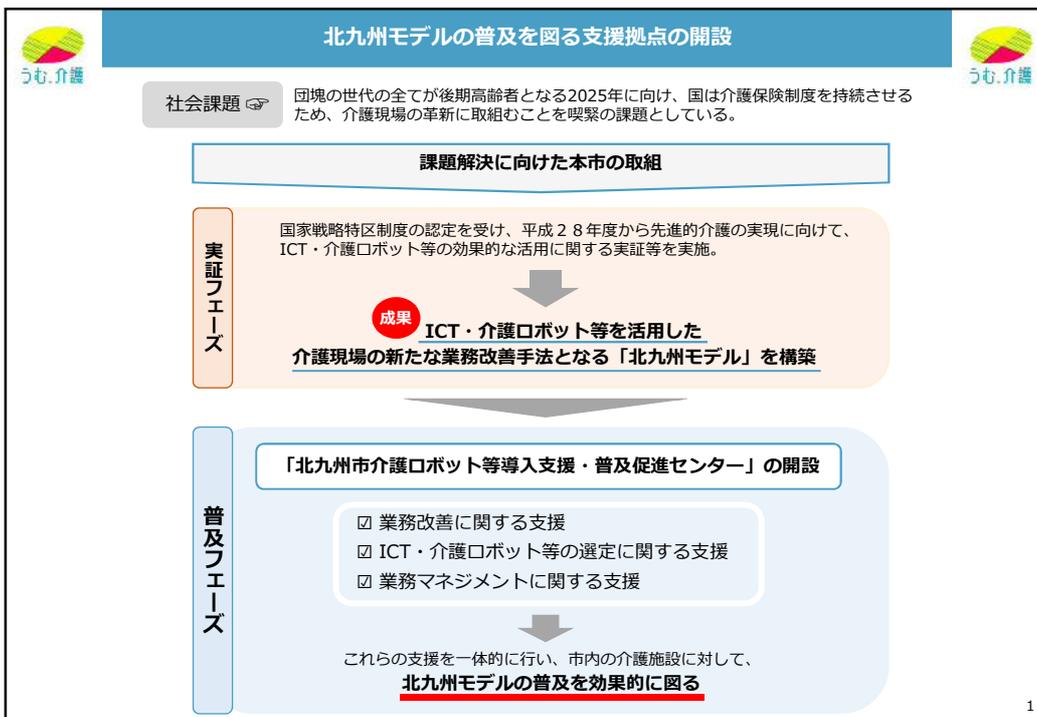
人とテクノロジーが変える「北九州モデル」

令和3年4月22日
記者発表資料

北九州市介護ロボット等 導入支援・普及促進センターの開設について ～北九州モデルの普及に向けて～

令和3年4月22日 北九州市

<問合せ先>
保健福祉局先進的介護システム推進室
担当：堀江（次長）、吉村（係長）
TEL：582-2712



北九州モデルについて

北九州モデルとは **ICT・介護ロボット等を活用した介護現場の新たな業務改善手法**

北九州モデルの核心（実践プロセス）

STEP 1 業務仕分け

☑ 介護施設で実施している介護・看護業務をリスト化し、その中から課題となる業務を抽出して、解決可能な領域に仕分ける

課題となる業務 (例示的)	課題解決が可能な領域における整理 (仕分け)
利用員医療療養の転記	ICT・介護ロボット等の活用 (アウトソーシング)
備品・身体器用での持ち回し記録	介護記録システムによる一括入力
共用スペースの管理	見守り支援機器・介護記録システムでの自動化
居室の見守り	見守り支援機器を活用
	介護職員以外対応

STEP 2 ICT・介護ロボット等の導入

☑ 仕分けた結果を基に、インカムや記録システム、見守り支援機器などのICT・介護ロボット等の一体的な導入及び周辺業務のアウトソーシング等を実施する



STEP 3 業務オペレーションの整理

☑ ICT・介護ロボット等の活用や業務量の需給バランス等を踏まえて、日中や夜間の業務オペレーションを整理する



ポイント 上記3ステップの具体的なノウハウをパッケージ化

北九州モデルの提供価値

“時間を生み出す介護”

業務効率化により生み出される職員の身体的・精神的・時間的な「ゆとり」を効果的に活用し、介護の質の向上及び職場環境の改善を実現

北九州モデルの効果

● 業務時間を35%効率化

業務時間全体の変化(時間)



項目	モデル導入前	モデル導入後
介護	216h	142h
看護	45h	28h
介護助手	0h	0h
合計	261h	170h

■ 介護 ■ 看護 ■ 介護助手

効率化によって生み出された時間の活用

- 1

介護サービスの質の向上

 - ・利用者に関わる時間の増加
 - ・職員研修等の専門性向上活動の増加 等
- 2

職員の負担軽減

 - ・夜勤回数の削減
 - ・有休取得の促進 等
- 3

生産性向上

 - ・業務量に見合う弾力的な人員配置
 - ・日中・夜勤帯の人員配置の最適化 等

北九州市介護ロボット等導入支援・普及促進センター (通称：北九州モデル普及センター)	
概要	今後の生産年齢人口の減少に伴う介護人材不足を見据え、介護現場における介護の質の維持・向上、職員の負担軽減、生産性の向上を図ることを目的に、「北九州モデル」の導入支援をはじめとする、介護ロボット等の導入・活用・普及に関する支援を行う。
開設日	令和3年4月26日(月)
場所	総合保健福祉センター1階 北九州市立介護実習・普及センター内
人員	<input checked="" type="checkbox"/> 管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 業務マネジメント担当 <input checked="" type="checkbox"/> 介護ロボット等選定・導入担当 <input checked="" type="checkbox"/> 業務コンサルティング担当
業務内容	<介護現場への支援> <input checked="" type="checkbox"/> 北九州モデルの導入支援(伴走型支援) <input checked="" type="checkbox"/> 北九州モデル等の体験展示及び試用貸出 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成等 <開発メーカー等への支援> <input checked="" type="checkbox"/> 介護現場のニーズを開発等に結びつける活動の場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 介護現場への情報発信に関する支援等
開館日時	月曜日から金曜日の9時から17時30分(祝日及び年末年始(12月29日から1月3日)を除く)
対象者	市内の介護施設・事業所、市内在住者等
相談費用	無料



北九州モデルの導入における伴走型支援(主な支援)

北九州市介護ロボット等導入支援・普及促進センターでは、北九州モデルの導入について、専門の相談員が以下の支援等を実施する。

① 業務の見える化

- 業務タイムトライアル調査の実施
- タイムトライアル調査による業務の見える化

② 業務仕分け

- タイムトライアル調査の分析
- 業務課題の抽出
- 解決可能な領域への業務仕分け

課題となる業務(例示的)	課題解決が可能な領域における整理(仕分け)	
	業務オペレーションの整理	ICT・介護ロボット等の活用 外部人材の活用(アウトソーシング)
利用者医療情報の転記	介護記録システムによる一括反映(転記不要)	
個別・全体巡回での様子観察・記録	見守り支援機能・介護記録システムで自動化	
巡回様子確認		介護職員以外で対応
見守り		
居室の見守り	見守り支援機器を活用	

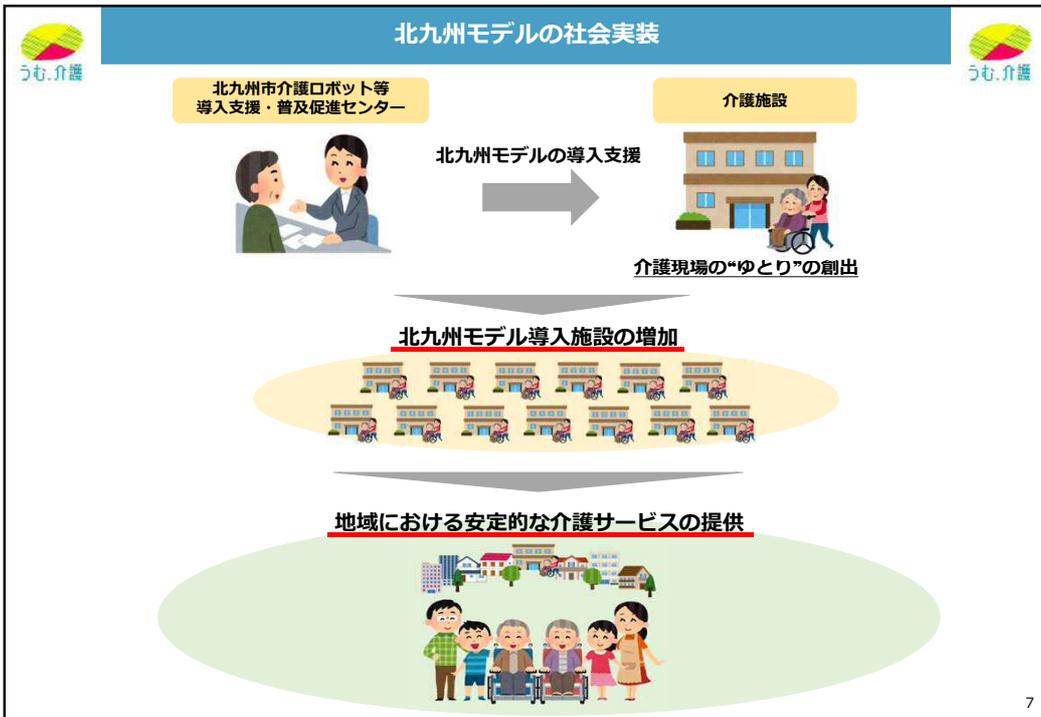
③ ICT・介護ロボット等の選定(解決策の検討)

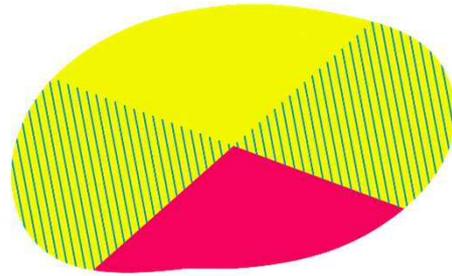
- 解決策の整理
- 北九州モデル導入効果の試算
- ICT・介護ロボット等の選定提案等

④ 業務オペレーションの整理

- ICT・介護ロボット等の活用方法に関する支援
- 業務オペレーションの変更に関する支援
- シフト表の作成支援等

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
介護1	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
介護2	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
介護3	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
介護4	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
介護5	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
介護6	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
介護7	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
介護8	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
介護9	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
介護10	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休





うむ、介護

人とテクノロジーが支える「北九州モデル」